令和４年度 支部活動報告

府北支部

支部理事：森田　眞由美

１．活動目標

1）地域包括ケア実現のため、病院・在宅医療・介護連携による三島圏域のグランドデザインの推進
2）看護管理の現状と課題の情報共有、また地域における課題を職能委員会と連携した活動の推進
3）支部活動を通じて看護をアピールし地域貢献できる継続的な活動

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【クロスパル高槻】 【Zoom】	役員会及び施設代表者会議 職能会議報告・問題提起や状況報告、年間研修計画予定・運営および施設紹介など	全８回	277名
施設代表者会 【クロスパル高槻】 【line】【Zoom】	コロナ感染症対応について、看護学生・助手の処遇、発熱外来の状況、成人年齢18歳の同意書取得について、医療安全交流会など	全11回	168名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
研修会 【ZOOM開催】	研修名：「人材育成セミナー」 講師：畑野クロスマネジメントCEO 畑野　義雄氏	10月22日	17名
研修会 【ZOOM開催】	研修名：「ACP研修」 講師：社会医療法人仙養会北摂総合病院 野口　忍氏	12月10日	43名
研修会 【ZOOM開催】	研修名：「看護研究研修」 講師：臨床研究支援センター 山田　一朗氏	3月11日	40名
出前授業	大阪府立北摂つばさ高等学校 講師：北摂総合病院　中島典子氏 講師：大阪府済生会茨木病院　津山知子氏、 惠　愛氏	12月14日 1月10日	60名 30名
出前授業	大阪府摂津支援学校 講師：大阪府済生会茨木病院　惠　愛氏	10月18日 12月13日 １月31日	109名
出前授業	茨木市立東中学校 講師：茨木みどりヶ丘病院　大元知明氏	12月９日	169名
大阪マラソン	救護班派遣	2月26日	18名

【活動の概要】
会議の開催や活動内容はCOVID－19の感染状況を考慮しながら進めた。QWは管理上の課題解決の糸口となり、定例会議で新たに始めた施設紹介は強みや機能の違いを理解することに有効であった。

４．課題・その他

1）人材確保・育成
2）地域包括ケアの推進に向けたさらなる連携強化、施設紹介も続行予定

府北西支部

支部理事:空山　直子

１．活動目標

1）支部会員施設の諸問題における情報共有、施設間の連携強化を図る
2）支部活動を通して地域住民の健康の保持増進に寄与する

２．活動内容

【実施項目 開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【国立循環器病研究センター/Zoom開催】	1)年間活動計画・実施報告、予算・会計報告 2)施設代表者会議のスケジュール検討	全９回	78名
施設代表者会 【国立循環器病研究センター/Zoom開催】	1)定例理事会報告 2)情報交換：中小民間病院の現状と課題、支部医療安全交流会の活動報告、災害支援ナースの活動と災害時における施設間の情報共有について、地域包括ケア推進に関する施設間・地域との連携、施設の取り組み等	全９回	179名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
研修会 【国立循環器病研究センター/ハイブリッド開催】	「心臓病診療に期待される看護の力」 講師：市立池田病院 腎臓内科部長 山本 聡子氏	2月24日	31名
みんなの健康展 【吹田市立保健センター】	内容：グリッターバグを使った手洗い評価の実演 担当：済生会吹田病院　看護師	9月10日 9月11日	56名
町の保健室 【池田商工会議所】	内容：災害・事故発生時の初期対応について 担当：市立池田病院　看護師	10月30日	
豊中市民健康展 【豊中市立文化芸術センター】	内容：脳年齢測定 担当：上田病院・千里山病院・千里中央病院 看護師	12月4日	119名
支部医療安全交流会 【Zoom開催】	医療安全に関する各施設での取り組みについて情報共有	6月21日 9月20日 12月20日 3月14日	73名

【活動の概要】
1）施設代表者会を定期開催し、支部施設全体に共通する課題や各施設での取り組み状況を情報交換した。ハイブリッドでの開催にも慣れ、意見交換がスムーズに行えた。災害発生時の連携、地域包括ケア推進については、継続的な取り組みが必要であることを共通認識した。
2）地域主催の健康展に2年ぶりに参加し地域住民の健康の保持増進に貢献した。コロナ禍での開催であり、開催日によっては参加者数が例年に比べ少なかったが、参加者の健康に対する意識・関心は高まっている印象を受けた

４．課題・その他

1）コロナウイルス感染拡大時期と重なり、予定していた研修会が開催できなかった。次年度は対面開催の研修会も企画し、意見交換ができる機会をもつ。
2）会員数減少の原因分析と獲得に向けた方策の検討が必要である。
3）地域包括ケア推進に向け、医療職間の更なる連携強化を図る

府北東支部

支部理事：白石　由美

１．活動目標

1) COVID-19患者の受け入れ状況や現状報告と課題の共有
2) 看・看連携による情報共有や課題の抽出
3) 研修企画・実施により、支部会員の質の向上を行う

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【枚方文化芸術センター 術別館】	各職能団体よりCOVID-19患者の現状と課題報告 年間研修企画について協議・会計報告	全10回	100名
施設代表者会 【　　同上　　】	各職能団体よりCOVID-19患者の現状と課題報告 看護師や看護補助者の獲得について 令和4年度研修企画・運営・評価	全10回	333名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
研修会 【市立ひらかた病院】 【Zoomハイブリッド開催】	「コロナと戦った看護師の奮戦記」 発表者：おかもと訪問ステーション枚方 管理者 大林 広樹 氏　計4名	5月27日	124名
研修会 【Zoom開催】	「命の授業」 講師：講演家 腰塚 勇人 氏	9月8日	200名
研修会 【Zoom開催】	「ゴキゲンにはたらく」 講師：京都大学 教授 任 和子 氏	12月８日	144名
研修会 【市立ひらかた病院】 【集合開催】	「看護職交流会」 講師：社会医療法人三杉会 佐藤病院 在宅・介護施設看護部 看護部長　朝比奈 由美子 氏	1月14日	65名

【活動の概要】
　COVID-19患者の現状については、各職能から毎月報告を行い、支部としての課題についても検討することができた。特に看・看連携研修として、訪問看護ステーション側から2例、病院側から2例と実践報告を行った。研修計画として4回を立案しすべてに実施できた。4回目に「看護職交流会」については集合研修とし、各職位にかかわらず老健施設や訪問看護ステーション側との交流会もでき顔の見える関係作りを行った。施設代表者会においても、「新人看護師の育成」「看護師長の育成」や災害看護師派遣など毎回テーマを出し合い議論することが出来た。中小民間病院間での問題や課題についても議論することが出来た。
　看護の出前事業についても「命の大切さ」「看護への道」など計4回看護師や助産師を派遣した。

４．課題・その他

1) withコロナへの情報共有と課題の抽出
2) 今年度は特に施設代表者会では、テーマを決めて30分間以上は話し合いを行い、顔の見える関係づくりを行っている。引き続き、タイムリーな議論が出来るように努める。
3)「働き方改革」が進む中、看護師・看護補助者不足である。タイム管理やタスクシフティングをどのように行っていくかを検討したい。

府東支部

支部理事：森本　満利子

１．活動目標

1）支部看護師の実践能力の向上を図る
2）支部施設の看護を通して、保健・健康・福祉の貢献し、地域住民の健康の保持、増進に寄与する

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【石切生喜病院】	支部活動につての協議	全11回	144名
施設代表者会 【石切生喜病院】	大阪府看護協会理事会報告、 支部活動についての協議、意見交換	全11回	208名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
看護の出前授業 【八尾市立上之島中学校】	「いのちの大切さ、こころとからだの話」 講師：八尾市立病院 吉井孝子氏、村上味穂氏、高井美保氏	8月30日	121名
看護の出前授業 【八尾市立龍華中学校】	看護職の仕事 看護への道 簡単な看護技術の体験 講師：八尾市立病院 山下春美氏、萱村勇氏、池井優里氏	11月4日	40名
看護の出前授業 【大阪府立八尾翠翔高校】	看護職の仕事　簡単な看護技術の体験 講師：八尾徳洲会総合病院　　小原真栄美氏	12月20日	20名
研修会 【プリズムホール・Zoom】	研修名「中河内医療圏における在宅医療推進のための多職種連携を考える」 演題１:桃李訪問看護ステーション　井上博之氏 演題２：プラザ薬局青山店　　奥村隆司氏 演題３：医療法人松田クリニック　松田宗也氏 特別講演：大阪府看護協会会長　　弘川摩子氏	12月17日	53名
大阪マラソン大会	救護班派遣	2月26日	9名

【活動の概要】
支部看護職員の実践能力の向上を図るため、研修会を実施した。コロナ感染症の影響も考慮し、現地参加だけでなく、Zoomでも参加できるように工夫した。支部役員と施設代表者による情報共有や意見交換を行い、支部施設の看護活動の参考となることができた。看護の出前授業を通して、地域住民の健康の保持増進に寄与し、中学生、高校生に看護の素晴らしさを伝えることができた。これをきっかけにして、看護師を目指す若者が増えることを期待する。

４．課題・その他

1）Zoom併用による会議は、会場の声が聞き取りにくい場面があり、機器の充実が必要である。
さらにZoomでは、音声にタイムラグが発生するため、スムーズに意見交換ができないなど課題がある。一つの会場に集合する形態の会議を開催する方が活発な意見交換ができると考える。
2）看護補助者及び看護師の離職防止と確保
3）施設代表者会議への参加促進

市北支部

支部理事：小間井　和代

１．活動目標

1) 新型コロナウイルス感染症患者・職員の状況を共有し、課題対応に努める
　コロナ禍における看護職員の離職防止と確保・新人看護職員研修のあり方
2) 各施設の地域連携活動を理解し、地域包括ケア推進の強化を図る
3) 災害時におけるネットワークの構築に向けて、各機関の取り組みについて共通する

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【大阪旭こども病院】 (Zoom/ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄ開催)	1)年間活動計画・実施のための役割分担・業務推進 2)各職能による課題活動（地域包括ケア等） 3)北区民カーニバル、災害(WEB)研集の計画・実施	全11回	183名
施設代表者会 【大阪旭こども病院】 (Zoom開催)	1)コロナ禍における新人看護職員の状況と育成 2)COVID-19(第７波)感染状況・職員の状況と対応 3)看護処遇改善の活用（診療報酬改定）について 4)看護補助者確保について 5)各施設における地域連携活動について　など	全11回	133名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
看護の日 【大阪公立大学 看護学部看護学舎】	看護週間事業「体験もできちゃう!?看護のセカイ」「看護の未来プロジェクト」と題し、大阪府内の看護系大学・看護専門学校の学生たちと看護職がコラボ。体験や動画を通して看護の魅力を伝える	5月14日	2名
北区カーニバル 【扇町公園】	2022年度北区民カーニバル「健康展」出展 測定（血圧、血管年齢、骨密度、握力）保健指導を通して、市民の健康意識を高め、看護協会の活動の啓蒙に繋げる。アンケート実施	10月16日	役員(16) 367名
地域包括ケア 【大阪旭こども病院】 (Zoom開催)	地域包括ケア委員会では、顔の見える関係から、地域資源の特性を理解し、地域包括ケアの実践へ繋げるために、各施設の特性と活動を発表した ①大阪市立総合医療センター ②住友病院 ③神原病院 ④大阪済生会中津病院 ⑤加納病院	11月30日 12月21日 1月25日 2月22日 3月22日	22名 27名 26名 24名 25名
WEB研修 【大阪旭こども病院】 (ハイブリット開催)	「災害時におけるネットワークの構築に向けて part1」～各機関の災害への取り組みを知る～ 講師：大阪市立総合医療センター　尾崎弘美 氏 なないろ訪問看護ステーション 長谷川泰子 氏 大阪市健康局健康推進部健康施策課 齊藤和美 氏	2月11日	136名
看護の出前事業	「いのちの大切さ。こころとからだの話」 大阪市北稜中学校　　3年生 大阪市北稜中学校　　2年生 大阪市立大淀中学校　1年生 大阪市立大淀中学校　3年生	7月1日 7月11日 11月7日 11月18日	150名 95名 110名 110名

	大阪市立三国中学校　2年生 講師：大阪府済生会中津病院　許由希	3月3日	269名
中小民間病院 看護管理者交流会 【桜橋渡邊病院の 近隣会議場】	① 新型コロナウイルス感染症対策について ② 看護補助者確保対策とタスク・シフト/シュアにおける看護補助者の活用について ③ 看護処遇改善の活用について ④ 人事考課制度における取り組みについてなど ・参加者からの質問への対応や確認事項の共有等	5月19日 7月21日 10月20日 12月15日 2月16日	7名 8名 10名 8名 9名
医療安全交流会 【大阪済生会中津病院】 対面とメール	・交流会：医師の検査指示や薬剤処方を指示のルールや造影剤アレルギー情報の入力の運用ルールなど ・他8か月はメールでの意見交換・情報共有の実施・検討・共有事項30項目 ・成人年齢（18歳）による同意書のサイン、放射線技師の静脈路確保、臨床工学技士の内服介助　など	9月9日 12月9日 3月10日	27名

【活動の概要】
　コロナ禍において、ネット環境・設備も強化でき、役員・施設代表者会議、研修等行えた。
・新型コロナウイルス第７波の流行により、各医療機関、施設等の運営に逼迫した状態であったが、理事会や施設代表者会議等で情報共有や問題解決に向けて取り組めた。また、いつ起こるか分からない災害（感染症含む）に備えて各病院・施設又は保健所の役割や取り組みについて、WEB研修を通して情報共有が支部内でできた。今後はどのようにしてネットワークの構築をするか検討していきたい。
・各施設の特性と地域連携活動について知ることができ、支部活動を考えることができた。
・看護補助者の確保対策として、労働環境における現状の課題を共通認識しながら意見交換することが出来た。

４．課題・その他

1）アフターコロナにおける問題点の共有と対策の検討（病院・施設運営と人材確保・育成）
2）地域包括ケア事業のネットワーク推進についての取り組み
3）災害ネットワークの構築に向けての取り組み

市西支部

市西支部理事：谷岡　美佐枝

１．活動目標

1) 支部における地域包括ケアシステムの推進
2) 地域における看護提供体制の強化
3) 看護の専門性が発揮できる人材育成と活用促進
4) 大規模災害における体制整備
5) COVID－19感染症対策

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【JCHO大阪病院】	理事会からの報告・各職能委員会等からの報告・会計報告・各施設の問題や情報共有	全10回	78名
施設代表者会 【JCHO大阪病院】	理事会報告・COVID-19感染対応状況、及び問題や情報の共有・看護の日の打ち合わせ・地域包括ケアシステム推進活動・職員の離職、採用状況、災害時の情報共有や協働ができる体制、看護師の処遇改善に関する事項、中小民間支援委員とのミーティング・会計報告など	全10回	98名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
講演会 【ハイブリッド開催】 【JCHO大阪病院】	研修名：「私にもできる実践の場での看護研究 ～円滑に進める一工夫～」 講師：JCHO大阪病院　中野　美佳　氏	11月25日	54名
	研修名：「コーチングを活用した若手看護師のコミュニケーション力アップ」 講師：(株)　井上　泰世　氏	3月7日	38名
報告会 地域包括ケア推進に向けての取組み 【ハイブリッド開催】 【JCHO大阪病院】	1. 多根訪問看護ステーションから 2. 港区保健福祉センターから 3. 暁明館病院から 4, 関西電力病院から	1・11月 2・12月 3・1月 4・2月	98名
看護の出前授業	11月29日　大阪市立新豊崎中学校 「がん教育」JCHO大阪病院　CNS/CN	11月29日	101名
看護の日 イベント参加	学生対象に看護の魅力を伝える企画であった。学生たちの発想力が素晴らしく、看護の役割や魅力を伝えることができたイベントであった。COVID-19対応、手指衛生、防護用具の着脱など興味を持ってもらえる内容となった。	5月16日	支部より 2名

【活動の概要】

今年度も、COVID-19感染拡大に関する情報共有や困難な事案などについて検討し、理事会での情報を提供しながら、共有に多くの時間を費やした。特に看護師の働き方や価値観の変化、特に若手看護師の教育や対応について難渋しているケースが増加しており、メンタル不調や離職につながっている現状に対して検討した。また、地域包括ケア推進に向けて、保健師・訪問看護師・急性期病院・慢性期病院などそれぞれの機能に応じた取り組みについて報告し、情報共有を行った。看護師の処遇改善について協会からの情報を周知した。

支部理事として、中小民間支援委員会の支部会議に参加し、情報共有や問題の抽出を行った。協会員の増員推進に向けて協力を依頼し、増員困難な問題を確認し、協会へ提言した。

４．課題・その他

1）支部における地域包括ケアシステムの推進
2）看護職における働き方改革「タスクシェア・シフト」取組みの共有
3）働き続けられる労働環境作り支援
4）看護の専門性が発揮できる人材育成と活用促進
5）大規模災害、感染症拡大における体制整備
6）協会員増員推進

市東支部

支部理事：荒瀧　久美

１．活動目標

1）地域包括ケアの推進に向けた支部内におけるネットワークの構築と看看連携の推進
2）他職種との連携に係る課題の共有と人材確保・活用に向けた取り組みの推進
3）COVID-19の感染防止対策や災害対策に係る現状把握と情報の共有による課題の明確化

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【ハイブリッド開催】 【済生会野江病院】	支部年間活動に関する計画実施、施設代表者会の運営に係る内容の協議	全11回	112名
施設代表者会 【ハイブリッド開催】 【済生会野江病院】	COVID-19の感染防止対策に係る現状と情報の共有、課題に関する取り組みの共有	全10回	222名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
「看護の日･看護週間」 事業 イベント 【大阪公立大学】	展示・動画・ミニレクチャーコーナーで 「新人ナースに聞いてみよう‼」のブースを担当 協力員：野江病院看護師	5月14日	5名
看護の出前授業	YMCA学院高等学校 講師：大阪赤十字看護専門学校　乾　正琴　氏	7月29日	30名
研修会 【ハイブリッド開催】 【済生会野江病院】	育児・介護休業法について 「改正のポイントと産後パパ育休」 講師：社労士事務所 クローバー 特定社会保険労務士　雀部 都紀恵　氏	1月26日	41名
大阪マラソン大会	救護ボランティア　派遣	2月26日	11名

【活動の概要】
役員会、施設代表者会では、COVID-19の感染防止対策に係る現状と情報共有、課題に関する取り組みの共有を図ってきた。また、地域包括ケアの推進に向けた支部内におけるネットワークの構築と看看連携の推進に向けて、施設代表者会で施設紹介（事例紹介・連携窓口の案内）をする取り組みを始めたところである。
災害支援ナース登録者数は、11支部中、市東支部は最下位であった。施設代表者会で、防災・災害看護委員より災害支援ナースの育成について説明を受け、各施設での災害対応で困っていることについて情報交換し、課題を共有した。他職種との連携と人材確保・活用では、各施設で看護補助者の確保に難渋しており、人材確保に関する取り組みについて意見交換を行った。

４．課題・その他

1）支部活動のあり方の協議と支部内の各施設間のネットワーク構築による組織力強化
2）各施設における災害対策と災害支援ナース登録の推進
3）地域包括ケア委員会と連携し、看看連携に係る課題の把握と課題解決に向けた仕組みづくり

市南支部

支部理事：西谷内　由美

１．活動目標

1）支部役員会・施設代表者会議の定期開催と情報共有
2）会員ニーズに添った支部研修会開催
3）再就業支援講習会・出前授業の講師派遣
4）「看護の日・看護週間」事業協力

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【Zoom開催】	支部理事会検討事項、時事問題意見交換、情報共有・情報交換、研修会企画・評価など	全10回	129名
施設代表者会 【Zoom開催】	理事会報告、各役員からの報告、困難事例検討、情報交換、施設代表者からの検討事項など	全10回	226名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
研修会 【Zoom開催】	研修名：「ストレスマネジメント」 講師：地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 主任・公認心理士　岡部 伸太郎 氏	8月3日	54名
研修会 【Zoom開催】	研修名：「看護の魅力を伝えよう！～出前授業ってどんなの～」 講師：～看護師の立場から～ ・西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 副看護部長 蔭山潤子 氏 ・大阪公立大学医学部付属病院　クリティカルケア認定看護師・特定行為研修修了者 井上佳世 氏 ～助産師の立場から～ ・大阪急性期・総合医療センター 助産師　堀江真唯氏 ・愛賛会　浜田病院 副看護部長　森山麻奈美 氏	2月21日	18名
「看護の日･看護週間」事業	「看護の日・看護週間」事業 BLS・AEDコーナー担当・派遣	5月14日	3名
みんなで話そう -看護の出前授業-	大阪市立長吉六反中学校 「いのちの大切さ。こころとからだの話」 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター　助産師　平井鈴華 氏	7月1日	51名
	大谷高等学校 「いのちの大切さ。こころとからだの話。看護技術体験」 西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院 看護師　蔭山潤子 氏	8月23日	204名

	大阪市文の里中学校 「いのちの大切さ。こころとからだの話」 愛賛会 浜田病院　助産師　森山麻奈美 氏	11月9日	231名
	大阪市立住吉第一中学校 「看護の仕事・看護への道」　医療法人錦秀会 阪和第二住吉病院　看護師　新谷久美子氏	2月10日	20名
	大阪市立新北島中学校 「いのちの大切さ。こころとからだの話」 大阪公立大学医学部付属病院 助産師　吉岡正惠氏	2月27日	123名

【活動の概要】

例年に比べ出前授業の依頼が増加し、講師派遣に苦慮した。講師育成が喫緊の課題となり研修会を企画した。従来の３施設から新たに４施設が講師可能となり、そのうち５施設（２施設増加）が講師派遣を実施した。今後も継続して講師の人材育成を継続する必要がある。

施設代表者会議のZOOM活用で短時間参加がしやすくなり、前年に比べ参加者が約50名増加した。中小民間病院の連携強化支援策としてZoomを活用したハイブリッド開催を試行。活用には至らず目的に沿う方法の再検討が必要と考える。

４．課題・その他

1）中小民間病院・看護師職能委員Ⅱ領域の連携強化の支援
2）看護の出前授業の講師育成

堺支部

支部理事：前原　陽子

１．活動目標

1）地域のネットワークづくりと連携を強化する
2）支部における看護の専門性と役割拡大における人材育成と活用の促進
3）活動報告や情報共有を行い、COVID-19感染防止対策につなげる

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【ベルランド総合病院】 【Zoom/ハイブリット】	支部活動計画と実施 実践報告会の企画・運営	全７回	98名
	今後の予定：2月28日、3月28日	全４回	50名
施設代表者会 【ベルランド総合病院】 【Zoom/ハイブリット】	理事会報告 堺ICNネットワークの活動報告	全７回	255名
	今後の予定：2月28日、3月28日	全４回	50名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
定例報告会 【Zoomリモート開催】	次年度の支部役員の報告、「繋がろう堺」DVD貸し出し規定の伝達	４月28日	32名
事例発表会・定例報告 【Zoomリモート開催】	「コロナ禍の中での看護」アンケート結果報告	５月26日	25名
研修会 【Zoomハイブリッド開催】	研修名：「第５次新カリキュラムによって、基礎教育はどうかわるのか」 講師：大阪公立大学大学院看護学研究科 教授　作田 裕実　氏	9月27日	29名
意見交換会 【Zoomハイブリッド開催】	地域包括ケア委員会　堺区担当委員より 1.「だから今、人生会議」冊子などの活用状況・取り組みについて各施設の情報の取りまとめ 2. 1.の情報の取りまとめから意見交換	11月22日	28名
研修会 【Zoomハイブリッド開催】	研修名：「特定行為研修修了者の活用と実践支援」 講師：滋賀医科大学医学部附属病院 副院長兼看護部長　小寺　利美　氏	11月22日	24名
実践報告会・研修会 【Zoomハイブリッド開催】	研修名：「特定行為研修修了者の実践状況と課題」 講師：大阪労災病院：下中 紀代子 堺市総合医療センター：南部 真理恵 馬場記念病院：具志堅 綾乃 府中訪問看護ステーション：津塩 昌子	12月27日	42名
意見交換会 【Zoom　研修会】	看護補助者の活用の実際と課題について	2月28日	21名

【活動の概要】
　9月の研修会では、堺市内の看護専門学校５校の参加があり、看護教育における現状や課題について共有した。先進的に特定行為研修機関として取り組んでこられた、滋賀医科大学医学部付属病院の看護管理者の立場から、その活用の現状と課題についてご講演いただいた。それを受けて、堺市部内の看護師特定行為研修機関でもあり修了者が活躍している3病院と訪問看護ステーションで活躍しているNPに実践状況と課題について、各施設での今後の取り組みに示唆をいただいた。この実践報告のアンケート結果から、

企画方法はZOOM開催が適当84.6％、時間が適当92.3％、研修内容が大変満足・満足であった80%、非常に役だつ・役立つ82％であった。感想では、堺支部で今後も共有し協働できればと思いますなど良い結果が得られた。
　堺支部の地域包括ケア委員と相談し、各施設のACPの取り組みについてとりまとめ、それをもとに11月に意見交換を行った。
　看護の出前授業の依頼はなかった。

４．課題・その他

1）コロナ禍であり、すべてハイブリッド開催としたが、次年度は、実際に顔を合わせて対話する時間も確保したい
2）会議資料の確認はしていただいているが、施設代表者会の参加が少ない。参加施設を増やし、堺市における看護活動の共有と連携強化を図る
3）新型コロナウイルス感染症の法律上の位置付け変更に伴う各施設の取り組みと対策

府南支部

支部理事：岡田　知子

１．活動目標

1）看護協会事業活動に関する情報提供を通し、重点事業の啓発・普及に努める
2）支部会員施設間の情報共有、連携強化を図り、地域住民の健康保持・増進に貢献する
3）研修会・講演会を通して支部会員の資質向上を図る

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【大阪はびきの医療センター】 【Zoom開催】	1）支部活動計画、評価 2）次期代議員・予備代議員選出	全８回	80名
施設代表者会 【大阪はびきの医療センター】 【Zoom開催】	1）総会、理事会、各委員会報告 2）研修会企画・評価 3）各施設での諸問題における情報交換	全８回	283名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
研修会 【Zoom開催】	研修名：「医療・介護の現場をよりよくする仕掛け～ナッジの活用～」 講師：慶応義塾大学看護医療学部大学院 健康マネジメント研究科 准教授　小池　智子　氏	９月29日	88名
研修会 【Zoom開催】	研修名：「Z世代の育て方」 講師：愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター 助教　内藤　知佐子　氏	11月24日	134名
大阪マラソン大会	救護班派遣	２月26日	10名
看護の日･看護週間事業	「体験もできちゃう看護のせかい」イベント派遣	５月14日	5名
みんなで話そう －看護の出前授業－	①清教学園中学校 「看護の仕事について、看護への道」 大阪はびきの医療センター 看護師　盛光涼子氏	２月７日	19名
	②富田林市立第二中学校 「看護の仕事について、看護への道」 大阪はびきの医療センター 看護師　鬼塚真紀子氏	３月16日	30名
府南看看連携ワーキング 【ハイブリッド開催】	支部施設間のより良い看看連携を検討する	11月15日 ２月27日	18名 20名
中小民間病院交流会	中小民間病院にかかる情報共有、課題検討	計5回	70名
支部医療安全交流会	医療安全にかかる情報共有、課題検討	計3回	65名

４．課題・その他

1）昨年度に引き続きコロナ渦での活動となり、対面での活動が制限された。研修会などZoomでの利点を活かしながら、対面での活動機会を増やす。
2）施設代表者会議参加施設が固定化傾向にあり、参加施設拡大及び会員の獲得が課題である。

泉南支部

支部理事：福田　栄江

１．活動目標

1）大阪府看護協会の事業計画を踏まえ、ACPの普及活動に取り組む
2）地域連携の強化を図り、情報共有を深める。

２．活動内容

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者 延べ数
支部役員会 【浪切ホール】	支部活動内容の検討、講演会の企画、職能委員会などの情報共有	全８回	93名
施設代表者会 【浪切ホール】	理事会報告、職能委員会報告、施設紹介、ACP研修会及び、活動報告、成功事例の事例共有	全８回	225名

３．活動実績

実施項目 【開催場所】	内　　容	開催日など	参加者数
講演会	「当事者の視点で医療安全を考える～患者遺族としての経験と医療対話推進者の実践から～」 講師：豊田　郁子	６月18日	83名
研修会	「ACPについて管理者として理解を深めよう」 講師：在宅看護専門看護師　　後藤　智子	９月27日	33名
研修会	「患者の意思を尊重した医療およびケアを支えるための取り組み」りんくう総合医療センター 講師：急性重症患者看護専門看護師 二藤 真理子	１月25日	23名
中小民間病院 看護管理者交流	情報共有および意見交換、労働環境や人材確保のための活動報告及び情報共有、ハラスメント等々	計５回	72名
医療安全交流会	医療安全にかかる情報共有および課題検討	計４回	120名

【活動の概要】
「泉南地域に住む人々が、最後まで自分らしく生きていける地域になるために、どこの病院、どこの施設にいても本人が尊重されて生活できる環境を作っていくため」という目的のもと、ACPの普及活動に取り組むという活動方針で活動を行った。すべて対面で行ったことにより、建設的な意見交換が行えた。

４．課題・その他

1）研修を終えたACPのコーディネーターが自施設で活動を積極的に行うことが必要
2）コロナ禍終息に伴い、さらに地域での活動と成功事例の共有を行う
3）年度初めに活動方針とアウトカムを出したことで、計画的に支部活動を行うことができた